



2015年11月～12月、東急線沿線エリアで

まちづくり・コミュニティづくりの可能性を広げるイベント主催者を募集します

東京急行電鉄株式会社

Orinoco Peatix 株式会社

東急電鉄の web サイト『とくらく』(東京急行電鉄株式会社)とイベント管理サービス Peatix (Orinoco Peatix 株式会社)は、11月17日のサイトのリニューアルにあわせて、11月17日(火)から12月28日(月)まで、東急線沿線において、共同で「シビックプライド」(※1)支援キャンペーンを実施し、まちづくり活動に資する個人、団体などのイベント主催者を募集し、活動経費の一部や広報などを支援します。

昨今、会社や組織にとらわれず、個人や友人・知人ネットワークを通じて、まちづくり活動に貢献するイベントが増えています。Peatix がイベント主催者を対象にした調査(※2)では、「友人・知人と一緒にイベントを主催している」という人が最も多く、ボランティアや NPO、市民活動について、積極的な参加意向を示している人は過半数を超えています(※3)。

東急電鉄の web サイト『とくらく』では、沿線地域の「シビックプライド」を醸成し、可視化するメディアとしての役割を果たすために、Peatix と協働することにより新しいアイデア、オリジナリティのある企画でまちづくり・コミュニティづくりの可能性を広げるイベントを募集、支援します。また、住民による自発的なまちづくり活動を通して、成熟化を迎えている東急線沿線エリアのコミュニティ活性化を目指します。

なお、本キャンペーンは本年1月の実施に続き2回目の開催で、前回から採択団体数を3団体から5団体、支援額も最大5万円から10万円に増やして募集します。

キャンペーン概要は別紙の通りです。

(※1)『シビックプライド』とは

1990年代にイギリスで生まれ、「まちに対する愛着や誇り、当事者意識を持ち、主体的に関わっていくこと」を意味します。Peatix では「親子・若者が地元の人と一緒に楽しく新しい祭り」や「行政・民間が共同で行うまちづくりのためのワークショップ」、「地産地消を進めるフードイベント」など、日々様々なイベントが開催されています。

(※2)、(※3) Peatix を利用するイベント主催者を対象にアンケート(2013年、有効回答数142)より

<http://media.loops.net/peatix/2013/05/07/eventfes3/>

<http://media.loops.net/peatix/2013/05/20/eventfes6/>

以上

【別紙】キャンペーン概要

●募集期間

2015年11月17日(火)～2015年12月28日(月)

●応募方法

- ①キャンペーンサイト(<http://services.peatix.com/tokuraku/nov2015/>)での応募フォームにより受付
- ②運営事務局による審査採択後、支援内容、取材手続き等をご案内

●告知方法

- ・東急電鉄の Web サイト『とくらく』(<http://www.tokyuensen.com/>)TOP でのキャンペーンページ案内
- ・東急線沿線で活動する Peatix ユーザへの案内
- ・東急線車両中吊り広告での告知

●支援内容

- ①2016年2月1日(月)～2016年5月31日(火)までに開催されるイベント主催者を5団体採択し、イベントの経費相当分を最大10万円まで支援
- ②『とくらく』でイベント情報の告知・事後レポートなど、活動内容を紹介

●応募条件

- ①『とくらく』で定める東急線沿線エリア(http://services.peatix.com/tokuraku_stationlist/) のいずれかの駅を最寄りとするイベントを主催する商店街、自治会、学校、NPO法人またはグループ
- ②2016年5月末日までに Peatix を利用して開催できるイベントであること
- ③イベントをきっかけに継続的な活動ができること
- ④『とくらく』による取材協力を行うこと

●審査基準

<東急線沿線のまちづくりへの発展性・可能性>

- ・イベントをきっかけに地域のコミュニティが広がる、深まる、またはその可能性がある
- ・イベントをきっかけに地域のまちづくりの活動が活発化する、またはその可能性がある
- ・東急線沿線の他の地域によい影響を与える可能性がある
- ・継続的に活動している。またはその予定、計画がある

<創意工夫性>

- ・オリジナリティがあるアイデア、費用や労力などの面での工夫がある

<街への愛着>

- ・住んでいる街、もしくは生まれ育った街、よく遊びに行く街など自身と街との関わりや想いがある

●応募締切

- ・2015年12月28日(月)まで

●注意事項

- ・対象外となる企画は以下のとおりです。
- ー 営利、宗教、政治または選挙活動を目的とした企画
- ー 特定の個人のみが利益を受ける企画
- ー 公序良俗に反する企画
- ・実際の活動内容が応募した企画内容と著しく異なる場合は、支援を取り消す場合があります。
- ・実施後、報告書をご提出いただきます。(報告会等へのご参加をお願いする場合があります)
- ・取り組みについて、東急電鉄および Peatix より広く情報公開いたします。(個人の方の写真や映像などが掲載・放映される場合があります)

●前回の支援3団体概要

1. 「東京シャルソン2015」(ご当地シャルソン協会)

シャルソンとは「パーティするようにマラソンする」「自由すぎる」ランニングイベントです。通常のマラソン大会と異なり、スタートもコースも決めずに、報告会の乾杯の時間に間に合うようにゴールする独自のスタイルで開催。また、スマートフォンのアプリを活用することで、走ったコースや当日決められたスポットに立ち寄った経験や記録を SNS などに残すことで、参加者と関心を持つ人々が街とつながり、交流を生み出します。

<http://www.tokyuensen.com/special/report/detail91/>

2. 「子育て応援隊」缶バッジ普及活動」(港北区地域子育て支援拠点どろっふ、こうほく net ほいっふ)

大倉山地区社会福祉協議会主催のイベント「太尾支えあい祭り」にて、「こうほく net ほいっふ」が発案・企画した「子育て応援隊」缶バッジの広報普及活動を実施。子育て中の人に、「ちょっとのお手伝いができますよ」のメッセージをさりげなく伝える「『子育て応援隊』缶バッジ」を配布。

<http://www.tokyuensen.com/special/report/detail98/>

3. Welcome New Comer ようこそ、高津区へ～まちのとおき情報をお知らせします～(NPO法人DT08)

高津区に、最近引っ越してきた方、これから引っ越してくる方、ずっと住んでいる方が集まって、ご近所付き合いの輪を広げるイベント。エリアのことをもっと知りたい・近所に知り合いが欲しいなどのお悩みを一挙に解決する企画。

<http://www.tokyuensen.com/special/report/detail99/>

※3団体による座談会:「つながること」が、沿線まちづくりの新たな可能性を生む ～3つのイベントを支える“人”が話して見えてきたこと～ を9月29日(火)に二子玉川ライズリバーフロント(オフィス棟)「カタリスト BA」にて開催

<http://www.tokyuensen.com/special/feature/detail120/>

【参考】

(Peatix について)

Peatix は、「イベント体験を豊かにする」イベント管理サービスです。イベントの告知、集客、チケット販売、受付などを簡単に管理することができるほか、モバイルアプリでは、イベント情報、チケット購入のほか、「おすすめイベント」(レコメンドーション)機能や、イベント参加者同士が交流できる機能が実装されています。2011年5月にスタートし、勉強会、セミナー、音楽ライブ、スポーツ、忘年会、結婚式、同窓会、展示会、街コンなど、規模やジャンルを問わず、これまでに80,000以上のイベントで利用されてきました。

2013年に本社をニューヨークに移転、Peatixのグローバル展開を進めています。

(Peatixの日本での運営法人)

社名: Orinoco Peatix 株式会社 (英文表記: Orinoco Peatix K.K.)

住所: 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6丁目31番15号マンション31A棟6階E室

代表: 代表取締役 岩井 直文

設立: 2011年10月

URL: <http://orino.co>

電話: 03-6805-1730

e-mail: press@peatix.com

(東急電鉄webサイト『とくらく』について)

『とくらく』は、東急電鉄が運営するWebサイトです。沿線の”ヒト””コト””モノ”とそれをつなぐ”バ”をキーに、まちづくりに関わる人の思い、その取り組みを発信し、地域の魅力をさまざまな角度からお伝えしています。

「とくらく」リニューアルの概要

■リニューアル予定日: 2015年11月17日(火)

■アドレス: <http://www.tokyuensen.com/>

■リニューアルのポイント

①街の価値を発見する

現在、東急沿線には500万人以上の方が暮らしています。「とくらく」は、沿線の街で活躍する人やまちづくりのためのユニークな”バ”、そしてそこから生まれるイベント(”コト”)や”モノ”に焦点を当て、情報を発信します。

②アーカイブする

「とくらく」ではヒト、コト、モノ、バを紹介する読み物としての”コンテンツ”をWeb上にアーカイブしていきます。まちづくりに関すること、子育てや教育に関すること、地産地消に関わる人や気になる街の場、イベント体験レポートなどさまざまなジャンルのコンテンツを蓄積し、読者の皆さ一人ひとりの関心に沿ったコンテンツを引き出せる便利なサイトです。

③人と人、街と人を結ぶ

「この街にこんな想いを持った人がいたのか」「こんな面白い場所があったのか」「こういうやり方や解決法があったのか」……「とくらく」のコンテンツを通じて、読者と沿線のヒト・コト・モノ・バを繋げ、読者と新たな価値を共創するwebサイトを「とくらく」は目指します。

URL: <http://www.tokyuensen.com/>

電話: 045-904-1163 e-mail: toqraku-op@tkk.tokyu.co.jp